

北九州
市議会
だより
PRESS

No. 163

平成15年11月1日号
(年4回発行)

全会一致で「暴力追放」を決議
9月定例会で
14年度各会計決算を認定

おもな内容	ページ
本会議での質疑・質問	2 ~ 5
意見書と決議	6
決算特別委員会での質疑	6 ~ 7
請願・陳情など	8



市議会の虚礼廃止にご理解を！

—— 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています ——

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお歳暮やお中元をすること
- 市民や団体が議員に寄附などを求めるこ
- 議員が年賀状や署中見舞いなどのあいさつ状を出すこと
(自筆の答札は除く)

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

9月定例会

本会議での質問と答弁は、紙面の都合により要約したものをお掲載しています。

詳細は、12月上旬以降、各市立図書館において会議録をご覧いただけます。

また、市議会のホームページの会議録検索システムでも12月下旬から閲覧できます。

本会議の質問と答弁



9月定例会は、9月10日から10月7日まで開かれました。

市長から59件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決、認定しました。

また、議員から提出された議案は11件で、うち6件を可決しました。

決算の特色と 今後の財政運営について

議員 平成十四年度一般会計
決算の特色と、今後の
財政運営について尋ねる。

④施策の厳しい選択による財源の有効活用、等の考え方方に立ち、本市の更なる発展と持続可能な財政運営の両立に努めたい。

ホームレスの 自立支援への取組は?

議員 本市のホームレスの実態と自立支援に向けての取組を尋ねる。

保健福祉局長 本年七月、市役所内に保健福祉ホームレス対策推進本部を設置し、具体的な取組に着手した。

議員 実態調査では本市のホームレスは四百二十一人で、二年前の調査より二百一十四人増加している。特徴としては、約八割が仕事をして自立したいと回答するなど、自立の意思が大変強く、約九割が「自立支援センター」の利用を希望している。

議員 今後も景気停滞や少子高齢化に伴う収入減などにより、引き続き厳しい財政状況が続くものと考えている。財政運営にあたっては、
①市税滞納額の縮減や環境未來税等独自財源の確保、②「ひまわり債」の発行など安定的な収入の確保、③行財政改革による経費節減、

財政運営方針について尋ねる。

議員 本市のホームレスの実態と自立支援に向けての取組を尋ねる。

保健福祉局長 本年七月、市役所内に保健福祉ホームレス対策推進本部を設置し、具体的な取組に着手した。

議員 実態調査では本市のホームレスは四百二十一人で、二年前の調査より二百一十四人増加している。特徴としては、約八割が仕事をして自立したいと回答するなど、自立の意思が大変強く、約九割が「自立支援センター」の利用を希望している。

議員 今後も景気停滞や少子高齢化に伴う収入減などにより、引き続き厳しい財政状況が続くものと考えている。財政運営にあたっては、
①市税滞納額の縮減や環境未來税等独自財源の確保、②「ひまわり債」の発行など安定的な収入の確保、③行財政改革による経費節減、

浸水地区の対策は?

議員 四年前の大雨による被害の教訓にもかかわらず、七月の大雨では床上浸水等の被害が起きた。浸水地区を解消するための取組と今後の対策について尋ねる。

議員 今後の対策としては、これまでの事業を引き続き行っていくとともに、紫川の治水対策のため、(仮称)紫川ダムの調査・研究を進めることとしている。

議員 市民が安全で安心できる災害に強いまちづくりを進めるため、河川と下水道の連携を一層強化していくこととしている。

議員 今後の対策としては、これまでの事業を引き続き行っていくとともに、紫川の治水対策のため、(仮称)紫川ダムの調査・研究を進めることとしている。

議員 市民が安全で安心できる災害に強いまちづくりを進めるため、河川と下水道の連携を一層強化していくこととしている。

放課後児童クラブの整備について

議員 放課後児童クラブは、小学校区に設置することになつて

いるが、遅れている門司区を含め取組を強める必要があるのではないか。

議員 放課後児童クラブは、小学校区に設置することになつて

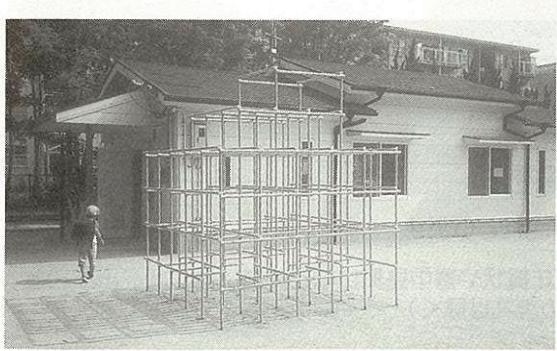
いるが、遅れている門司区を含め取組を強める必要があるのではないか。

議員 設置にあたつては、①放課後児童数が多い、②小学校の余裕教室など公的な施設が活用できる、③校区社会福祉協議会等に運営委託ができる、という三つの要件が整つたところから整備を進めている。

これまでには、小学校内の設置を優先してきたが、今後は保育所、幼稚園等、既存の施設の活用等も検討し、平成十七年度までに残りの十三カ所の整備を完了したい。

議員 設置にあたつては、①放課後児童数が多い、②小学校の余裕教室など公的な施設が活用できる、③校区社会福祉協議会等に運営委託ができる、という三つの要件が整つたところから整備を進めている。

これまでには、小学校内の設置を優先してきたが、今後は保育所、幼稚園等、既存の施設の活用等も検討し、平成十七年度までに残りの十三カ所の整備を完了したい。



放課後児童クラブ

橋本和生（日本共産党）
佐藤昭紀（北九州市民クラブ）
森本由美（市民市連合）
加代明（日本共産党）
武光（自由民主党）
計（緑の会）
(社民市民連合)
(日本共産党)
小柳福（新しき風）
野臣博（公明党）
島尾（公明党）
戸田信（自民市民クラブ）
敷田秀作（自由民主党）
本眞智子（公明党）
森浩明（新しき風）
長野敏彦（社民市民連合）
山本眞智子（公明党）
戸町武弘（自民市民クラブ）
石桂（公明党）
田茂実（公明党）
高（日本共産党）

香月耕治（自民市民クラブ）
原博道（日本共産党）
井上秀作（自由民主党）
敷田信代（公明党）
森浩明（新しき風）
長野敏彦（社民市民連合）
戸町武弘（自民市民クラブ）
石桂（公明党）
田茂実（公明党）
高（日本共産党）

本会議では、各会派から次の20人の議員が質疑・質問を行いました。（発言順）

幼児通院費の早期無料化を！

議員 就学前までの幼児の通院費無料化は、段階的に拡大するのではなく、早期に実現すべきではないか。

議員 無料で市営バスを利用できる敬老優待乗車証は、バスの運行地域が限られているため、域外の住民は利用する機会が少ない。制度を見直してはどうか。昭和五十年に始まり、

敬老優待乗車制度の見直しを！

本市では、少子社会対策として「新子どもプラン」に沿った様々な施策を実施しているところであります。乳幼児医療費支給制度についても、限られた財源の中で総合的に勘案しながら対策を講じてまいりたい。

祉局長については、今年の八月、通院の支給対象年齢を三歳未満から四歳未満へと引き上げ、所得制限の免除を子供三人世帯から二人世帯までに拡大した。これに伴い、今後新たに年間二億四千万円の財政負担が生じることとなる。

折尾地区総合整備事業について



市営バス

ユニバーサルデザイン
のまちづくりについて

議員 最初からバリアのない
社会を目指すというユ
ニバーサルデザインの考え方が、
本市のまちづくりにおいて、どの
ように反映されているのか。
企画政 策室長 本市では、ハード面だ
けでなく、ユニバーサ
ルデザインの基本である心のバリ
アフリーに取り組むことで、人に
やさしいまちづくりを進めている。
具体的には、市と民間グループが

昨年度は、市内の七十五歳以上人口の約十六パーセントに乗車証が交付された。しかし、①高齢化の進展に伴つて交付数が毎年増加し、経営に及ぼす影響が大きい、②利用者に地域的偏りがあり、市民の間で不公平感が拡大している、③市内各所で実施されている「おでかけ交通」は、市民が応分の負担をして運営されており、整合性の観点から問題がある、などの理由から見直す時期にきている。昨年実施した利用実態調査の結果も踏まえ、できる限り少ない負担で高齢者の需要に対応できる新制度を検討しているところである。

八月三日の公聴会では、早期着手を望む多数の意見があつた。しかし、駿南地区の土地区画整理事業に多くの反対意見があつたことから、市としてさらに話し合いの必要があると判断した。これを踏まえ、反対意見を持つ方々と意見交換する協議会を設置し、九月三日に最初の会議を開催した。協議会では、駿南地区の現況や誤題を十分理解していただき、街づくりに対する一層の理解が得られるよう合意形成に努めていきたい。

直接現場で意見を交換し、段差や色等を決定した小倉都心地区のまちづくりや、ウエルとば等の市の施設における自動音声案内の設置等があげられる。また、心のバリアフリー醸成を目指した事業として、心のふれあいコンサートや世界車椅子バスケットボール選手権大会等にも取り組んでいる。

今後も、ハード面における市民参加の取組やソフト面での心のバリアフリーに取り組むことで、ユーバーサルデザインにつながるまちづくりを進めていきたい。

トリートミュージシャンに勝山公園やリバーウォーク北九州周辺等を定期開放し、演奏できるようにしてはどうか。

教育長 青少年の路上パフォーマンスは、場所によつては、通行人の邪魔になることや演奏が深夜に及ぶなど青少年の健全育成には好ましくない場合もある。そこで、今年度、小倉駅JAM広場において、自己表現の機会を提供する「ストリートライブIN北九州」を予定している。

勝山公園等の定期開放については、若者の音楽活動の場が広がり新たな音楽文化の振興や活気のあるまちづくりに貢献できることから、関係部署とも協議しながら実現に向け検討していきたい。

ストリートミュージシャン に演奏の場を



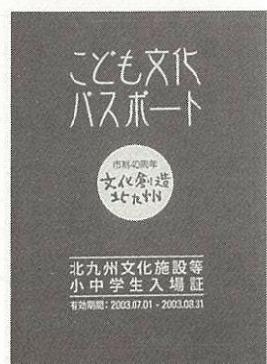
議員 青少年の健全育成や文化創造の観点から、ス

教育長 青少年の路上パフォーマンスは、場所によつ



こども文化バスポート

事業の継続を！



議員 今年の夏、市制四十周年記念事業として市内十八施設の利用が無料となる「こども文化バスポート」が発行されたが、利用状況と評価はどうか。また、継続すべきではないか。

企画政策室長 こども文化バスポートは、市内の小・中・養護学校の児童・生徒を対象に配布した。利用者は、延べ十三万六千人であり、全員が一・六回以上訪れた計算となる。大人を含めた総入場者数は、昨年より四割増加し、入场料収入も増えた。また、子どもや保護者から好意的な声が数多く届いており、子どもたちが家族と一緒に歴史や文化に接する機会が増えたなどといへん有意義な事業であったと考える。

事業の継続については、七、八月という短期間ではプラスであったが、今後の反動も予想されるところから、もう少し様子を見たい。また、子どもや保護者へのアンケート結果や施設側の意見も参考にして判断したい。

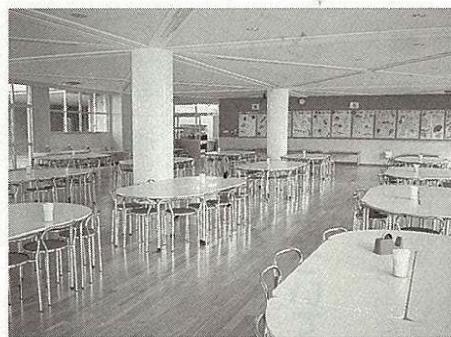
児童虐待の現状と今後の取組

議員 今後の取組

議員 児童虐待の相談件数が増加しているが、相談体制も含め、本市の現状と今後の取組について伺う。

保健福祉局長 ターにおける児童虐待相談件数は、平成七年度の二十七件が十四年度には三百七件へと急増している。このため、専門の職員を順次増員し、体制強化に努めてきた。また、この数年、児童養護施設等へ措置される児童の約半数が被虐待児童であることから、市内五カ所の施設に心理的ケアを行なう心理士を配置している。

議員 今後も、困難事例に対応できるよう、職員の資質向上のための研修の充実、施設等に措置されている児童の家庭への引き取りを促進する事業や専門里親の養成などを様々な施策を展開していきたい。



ランチルーム

については、道路幅員等の点から困難である。しかし、自転車を一層活用するためには、歩行者と自転車とともに利用できる広い歩道空間を、都心部のネットワークとして構築することが重要と考えている。

引き続き自転車歩行者道の整備とともに、駅周辺の駐輪場整備やバリアフリー化など、自転車の利用しやすい環境整備を行ないたい。



自転車歩行者道

黒崎再生十カ年計画について

議員 プリンスホテル周辺の多目的都市公園への計画の見直しについて伺う。また、九州厚生年金病院跡地等については、市の関与について伺う。また、九

月長 ブリッジホテル周辺は、黒崎の集客エリアを面

立地条件と今後の設置計画を伺う。

教育長 小学校百三十五校のうち、二十五校に設置している。校舎の新築・改築時には必ずランチルームを設置しており、既存の学

校でも、一教室分のスペースがあ

り、学校から要望があれば改造して設置している。

それ以外にも、転用可能な教室があれば、学校独自で給食時にランチルームとして活用しているところもある。

今後も、学校から要望があれば、できる限り早い時期に設置をしていきたい。

が行う事業であり、本市は関係機関との調整や情報提供などの支援を行うこととしている。

年金病院跡地等は、ホール、図書館、区役所等の施設や多目的イベント広場等を整備する方向である。

整備にあたっては、ゆとりの空間を持つ「文化・交流拠点地区」を形成する観点も重要な要素である。

今後、地元関係者やまちづくり団体等の意見を伺いながら、世代を超えた多くの人々が集まる魅力ある地区として、整備していく

力がある。この商業施設は、民間が取り組む必要があると考える。

青少年の健全育成について

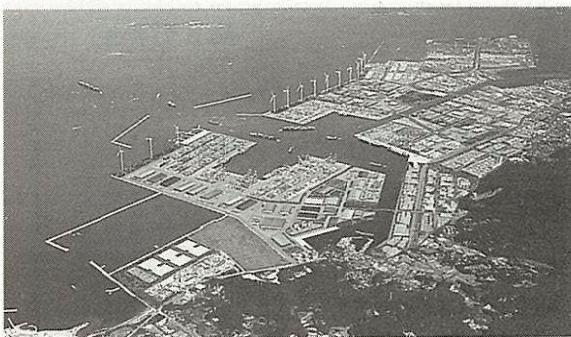
議員 青少年犯罪については、個々の要因を分析して対応する必要がある。青少年の健全育成を妨げる原因や背景についての見解を尋ねる。

教育長 青少年問題の原因や背景には様々な要因が複雑に絡み合っており、それらの因果関係を明らかにすることは困難である。しかし、今日の青少年の状況からみると、その要因として①家庭の教育力の低下、②多様な体験や交流機会の不足、③社会全体が抱える様々な問題の影響、④情報化の進展や有害情報との接触、といったことがあげられる。

このような中、青少年の健全育成を進めるためには、問題行動の直接的防止策だけでなく、その原因や背景等を踏まえ、生きる力の育成という根本的な問題に立ち返り取り組む必要があると考える。

企業の進出状況は?

▼国際物流特区▲



国際物流特区イメージパース

議員 国際物流特区における企業進出の見通しはどうなつか。また、新たな規制緩和の検討を行っているのか。

市長 國際物流特区では、今後十年間で、製造業、物流業等、三十五社の企業立地を目指している。これまで、特区計画のPRや企業誘致に取り組んだ結果、すでに二社が進出し、三社が進出準備中である。

規制緩和については、七月から通関の時間外対応を実施しており、更手続きの簡素化など新たな項目を特区計画に追加提案する予定である。今後も産業の集積、都市の活性化を目指し、都市の目標達成に向けて努力していきたい。

簡素で効率的な行政の実現を!

議員 本市の厳しい財政状況を考えたとき、行政組織の減量化と効率化を一層推進する必要があるのではないか。

市長 本市では平成八年からして行政改革に取り組んできた。その結果、職員数を千百二十八人削減し、組織の数も減少したところである。

今後も、市役所内部の徹底した簡素・効率化が不可欠である。これまでの行政改革の延長ではなく、「民間でできるものは民間に委ね、市の関与を必要最小限にとどめる」という考え方を徹底する必要がある。

具体的には、①民間委託から民間化へ、②存在意義の低い施策や事業の見直し、③徹底した民間活力の導入、④市の経営資源の再配分、⑤維持管理コストの削減、といふ視点から検討していきたい。

本市の科学技術振興策

▼新しい「モノづくりの街」の実現に向けて!▲

議員 科学技術を積極的に振興し、地域の産業振興に活用することは、厳しい都市間競争に勝ち抜く戦略として重要である。本市では今後どのように科

学技術を振興していくのか。市長 街」として今後も発展

するためには、産業を支える知的基盤のうち、将来的性があり、地域の特徴を生かせる分野の選択・集中が必要となる。そこで、「北九州市科学技術振興会議」を設置し

検討した結果、環境と情報を基盤に、クリーンエネルギーなど七つの分野が提示された。今後は、これらの重点分野を中心とした研究開発活動や、産業化に結びつけるため、

知識的基盤充実計画の策定やベンチャーエンチャードへの支援など、多様な施策を展開することにしていく。国際競争力のある「次世代モノづくりの街・北九州」の実現を目指していきたい。

暴力追放運動の強化に向けて

議員 暴力団組員によるクラブ襲撃事件を受けて、市民ぐるみの暴力追放運動を強化するための市の支援策について尋ねる。

市長 今回の事件が市民に与えた衝撃の大きさと暴力団員に対する市民の強い憤りを重く受け止めている。また、暴力追放は警察とそれを支える市民運動とが一体となった、粘り強い取組が必要であると考えている。支援策としては、①自主的防犯支援制度の創設、②自主防犯意識の醸成、③シンナー等薬物乱用撲滅と暴走族への対策強化、④府内組織体制の整備、などがある。

具体的には、防犯組織への経費助成や暴力追放キャンペーンの実施等であるが、実現可能なガーデ

イアン・エンジエルズの講習会や防犯カメラの設置助成、(仮称)小倉駅周辺暴走族対策協議会の設置については、今年度中に実施したい。

※日本ガーディアン・エンジエルズ繁華街などで青少年非行・犯罪防止活動や環境美化浄化運動などを実行している特定非営利活動法人



「環境」を教育科目に!

議員 環境首都を目指す本市を支え、地球環境問題を取り組む人材を輩出していくため、小中学校の教育科目に「環境」

教育長 本市では、環境教育の推進を指導の重点に掲げ、すべての学校で副読本等を活用した学習を積極的に進めている。特に総合的な学習の時間では、九割以上の学校が環境をテーマに、地域や学校の特色を生かした学習を実施している。教科として「環境」を取り入れる場合、総合的な学習の時間の一部を充て、全ての学校で統一的な内容を学習することになる。これに対して、現在の取組は、各学校の創意工夫によって、児童生徒の実生活に密着した学習ができる長所がある。したがって、これまでどおり各学校において、総合的な学習の時間等を有効に活用し、さらに充実した環境教育を推進していきたい。

他の、次の項目にわたつても議論がありました

- 外郭団体・第三セクターについて
- A-I-M事業について
- コムシティ問題についてなど

濱田順治 議員 逝去

濱田順治議員(門司区選出)は、平成十五年七月十六日に、ご逝去されました。

同議員は、議長、総務財政委員会委員長、文教建築委員会委員長などの要職を歴任され、市政の発展、市議会の改革に大きく貢献されました。ここに謹んで、故人のご冥福をお祈りいたします。

第1分科会

北九州フィルム・コミッショングの活動

Q フィルム・コミッショングは、映画などのロケを誘致・支援し、映像により本市を国内外にPRしているが、本市のイメージアップや経済にどう貢献しているのか。また、今後、どのような活動を考えているのか。

A 平成12年の設立以来、3年間でテレビ289件、映画12件、CM10件を誘致・支援してきた。ロケの件数も着実に増え、映画やテレビ番組に本市が取り上げられることが多くなり、間違いなくイメージアップにつながっている。経済効果としては、これまでのロケ隊による消費が約1億2,000万円。さらに、旅番組やグルメ番組で紹介されることが観客増加につながっており、消費の拡大に大きく貢献していると思われる。

更に多くのロケを誘致するために、九州各地のフィルム・コミッショングとの連携を深めたい。

また、釜山のフィルム・コミッショングとの関係も強化し、飛躍的に発展している韓国映画の誘致にも力を入れたい。



第2分科会

色覚特性児童・生徒への対応

Q 学校検診の色覚検査が廃止になったが、色覚特性の児童生徒に対してどのような対応策を考えているのか。

A 色覚に不安のある児童生徒・保護者からの相談には、プライバシーに十分配慮しながら、学校医または養護教諭が個別に検査や生活管理指導を行う。

色覚特性児童等に対する学習指導や進路指導については、文部科学省の指導資料に基づき、色覚特性児童等への配慮に欠けることがないよう周知・徹底を図っている。

例えば、チョークについては判別しにくい暗い色を避け、白と黄色を使うことで一定の効果が上がる考えているが、色覚対応チョークについても必要に応じ導入していかたい。

また、児童生徒向けのチラシ・パンフレット等については、見分けやすい色使い、文字や記号の併記などに留意して作成するよう努めたい。

今後とも、色覚特性の児童等にやさしい教育環境が整備されるよう指導していく。

決算特別委員会

一市長質疑から



第3セクターの情報公開

Q 本市の出資比率が25%未満の第3セクターについても、経営状況等の情報を議会や市民に公開すべきではないか。

A 本市は、情報公開条例等に基づき市の出資比率が25%以上かつ最大出資の第3セクターについて、経営状況等の情報提供を取り組んでいる。

市の関与が小さい出資比率25%未満の第3セクターについては、情報公開の対象となる範囲や情報提供の方法など具体的な内容について、今後検討することになる。

現時点では例えば、市の出資比率3%以上の第3セクターについて、株主総会で承認された前年度決算資料に基づく経営情報を、株主の立場として議会に報告することなどを考えている。

また、今後、本市が第3セクターを設立したり、増資をする場合は、事前に事業の有効性や必要性、将来的な収支見込などを議会に説明するなどして、経営の透明性を高めていきたい。

地産地消と学校給食

Q 市長の公約に、地産地消を進め、地元の農林水産業の振興と消費者の食の安全を守る、とあったが、それを学校給食の分野でどのように促進するつもりなのか。

A 本市の小学校給食は、1日約58,000食を調理しており、地産地消の促進に重要な位置を占めている。平成14年度に給食として使用した野菜は、全体で926トンであり、その内約123トン、13.3%が地元産野菜となっている。中でも、たけのこ、はくさい菜、かつお菜、大葉しゅんぎくの4種類は100%使用した。また、キャベツ、ブロッコリー、小松菜の3種類は40~50%、米については市内産の1等米を90%使用した。

今後の使用促進については、給食で特に使用量の多い、じゃがいも、たまねぎ、にんじんなどがほとんど地元で生産されていないことや、



9月16日に設置された決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて審査を行いました。9月29日に行われた市長との質疑の中から、いくつかを紹介します。

黒崎バイパスの進ちょく状況

Q 黒崎バイパスの早期整備は、黒崎再生の力ぎを握っている。平成19年度の供用開始に向けた進ちょく状況、今後の事業の進め方、また、完成による渋滞解消の効果を尋ねる。

A 現在までに、JR鹿児島本線南側の用地買収は概ね完了し、8月には陣原ランプの工事に着手した。北側の買収は約70%で、残りについても今年度中に完了させたい。

平成19年度に暫定供用を開始するためには、事業費の確保等の課題があるため、今年度から国との定期的な協議の場を設け、事業推進を強化した。

黒崎バイパス舟町～陣原間の暫定供用により1日に約1万台を超える利用が見込まれ、現国道3号線の渋滞が大幅に緩和され、現在23分かかるている陣原～西本町間が10分に短縮される。

市としては、一日も早い完成に向け、国に対し財源確保等を強く要望していきたい。



第3分科会

高額所得世帯の市営住宅明け渡し

Q 高額所得者の住宅明け渡し率が年々低下している。市営住宅に何度も申し込みしても入居できない市民がいるような状況もあり、明け渡し率低下について、市はどう考えているのか。

A 市営住宅に5年以上入居し、最近2年間の月収が397,000円を超える高額所得の入居者に対しては、明け渡し義務を課すとともに近隣住宅と同等の賃料を徴収している。明け渡し率の低下は、①対象者が年々減少傾向にあること、②入居者や同居者が病気・退職などの理由に該当する場合

合は明け渡し請求を猶予していること、が理由であると考えている。

入居希望者が多いことは承知しており、高額所得者への対応については、個々の事情を考慮しながら今後とも適正に行つていきたい。



意見書と決議

暴力追放に関する決議

去る8月18日、小倉北区の飲食店において暴力団組員による襲撃事件が発生し、市民を大きな不安に陥れている。

本市では、昭和39年に暴力追放都市宣言を行い、官民一体となって積極的に暴力追放取り組んでいたところであり、本市議会においても、市民が安心して生活できるまちづくりを推進するため、機会あるごとに暴力追放に関する決議を行ってきた。

今回の暴挙は、安心で平穏な生活を送りたいという市民の思いを愚弄するところに、民主主義に対する重大な挑戦であり、断して容認することはできない。また、本市が長年にわたって培ってきた安全で快適な都市というイメージを失墜させるものであり、觀光産業や企業誘致などへも多大な影響を与えることが懸念されるところである。

よって、本市議会は、警察当局に対して暴力団壊滅の取組強化を望むとともに、このよつた事件に勝ることなく、市民・行政・事業者等一体となり、改めて暴力追放の気運を高め、「暴力のない明るく安心して暮らせる北九州」の実現に向け、全力をあげて邁進することを表明する。以上、決議する。

その他の可決された意見書・決議の項目は次のとおりです。

- 犯罪防止のための治安対策の強化を求める意見書
- 国立病院の賃金職員の雇用継承等を求める意見書
- 携帯電話の利便性の向上と料金の引き下げを求める意見書
- 動物愛護の推進を求める決議

市議会ホームページにアクセスを！

市議会ホームページに市議会だより及び会議録を掲載しています。

□市議会だより

- 本会議での質疑・質問
- 可決した意見書・決議
- 請願・陳情の審査結果
- お知らせなど

※ 平成14年度分から掲載しています。

□会議録（会議録検索システム）

- 本会議や予算・決算特別委員会市長質疑の内容（全文）を検索できます。

※ 平成9年分から掲載しています。掲載までに、本会議等が終わってから概ね3ヶ月程度かかります。

お問い合わせ先

市議会事務局調査課 ☎ 582-2632

あなたも市議会を通して市政に参加しませんか？

市政についての要望や意見を請願や陳情として、市議会に提出できます。

市議会では、提出された請願や陳情を所管の委員会で話し合い、審査をしたのち、本会議で最終的に採択か不採択かを決めます。

なお、議会での審議結果は、提出された方にお知らせしています。

採択された請願や陳情は、それぞれ担当の部局に送付されます。

◆請願には、議員の紹介が必要です。

◆点字による請願・陳情も受け付けています。

お問い合わせ先

市議会事務局議事課 ☎ 582-2628

市議会を傍聴してみませんか？

市議会は、市民の皆さんに代わって市政について審議・決定し、チェックする仕事を行っています。

今、市で何が行われているのか、どのような問題が議論されているのか、市民の皆さんに実際の市議会の活動状況を見ていたとき、議会の仕組みや役割を身近に感じ、市政や政治への関心を高めていただきたいと考えています。

ぜひ、お友達やご家族とお誘い合わせのうえ傍聴においてください。

なお、耳の不自由の方には、マイクの音声を補聴器に直接つなぐ音声伝達システムをご利用いただけます。また、車椅子をご使用の方も車イスのままで傍聴できます。もちろん一人でお見えになっても大丈夫です。

市議会ですかー(2)



*傍聴の受付時間・場所

会議の始まる1時間前から先着順に受付をいたします。場所は、議事堂の1階傍聴者受付です。

*定員

- | | |
|------|----------------|
| ・本会議 | 137人 |
| ・委員会 | 委員会室によって10~20人 |

*市議会の開催日程等のお問い合わせは、市議会事務局総務課まで。

☎ 582-2621

市議会ホームページでもお知らせしています。

お 知 ら せ

市議会ホームページのアドレスは

<http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>
です。

※ 北九州市のホームページからもアクセスできます。

お問い合わせ先
市議会事務局調査課
☎ 582-2632

▼市議会では、視覚障害（一級か二級）のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

ご希望の方は、ご連絡下さい。

ご感想をお寄せ下さい。

次の定例会は十一月開催予定です。

手話通訳による傍聴

聴覚に障害のある方で手話通訳による傍聴を希望される方には、手話通訳を派遣する団体をご紹介いたします。

問い合わせは、市議会事務局総務課へ。

☎ 582-1162、FAX 582-11685

このほか、請願38件、陳情71件が継続審査になりました。

○請願「櫻田プールの移設存続について」のうち
第一項（不採択）陳情「市民がわかりやすい企業会計方式に基づく決算書への改善について」（不採択）陳情「口頭陳情の機会改善について」（不採択）

請願・陳情の審議結果